

はたらくくるま



『くこうではたらくくるま』

作/こもりまこと
1,200円 (教育画劇)
※『はたらくくるま みちをつくる』もあり
飛行機が滑走路からゲートに入ってきました。マーシャリングカーやハイリフトローダー、サービサーにベルトローダーなど、空港ならではの働く車がたくさん登場します。



『まえとうしろ どんなくるま?③ まちではたらくくるま』

作/こわせもりやす
1,200円 (偕成社)
※『①どうろこうじのくるま』『②きんきゅうしゃりょう』もあり

車を前から、後ろから見て、そして横から見てみます。路線バスやゴミ収集車、馬運車にロードスweeperも。外から見たり、中から見たり、車の仕組みが詳しくわかります。



『おはよう、はたらくくるまたち』

文/シェリー・ダスキー・リンカー
絵/トム・リヒテンヘルド
訳/福本友美子
1,300円 (ひさかたチャイルド)
※『おやすみ、はたらくくるまたち』などもあり

工事現場に朝が来て、5台の働く車たちが目を覚ました。ミキサー車がクラクションを大きく鳴らすと、もう5台やってきました。みんなで協力して、新しい工事の始まりです。



『とらっく とらっく とらっく』

作/渡辺茂男
絵/山本忠敬
900円 (福音館書店)

港の倉庫から、大きな荷物をのせたトラックが発しました。一日走る間に、道路工事現場のブルドーザーや、消防車、救急車、スピードの出しすぎで白バイにも出合います。



『ショベルカーがやってきた!』

作/スーザン・ステゴール
訳/青山 南
1,500円 (ほるぷ出版)

ショベルカーがやってきました。びゅーん、がしん、どカーン!と、どんどん壊していきます。続いてブルドーザーにダンブカーと、いろいろな車がやってきて工事が進みます。



『のっぽのスイブル155』

作/こもりまこと
1,400円 (偕成社)

サビだらけになったブルドーザーが、東日本大震災のあと、修理されて再び動かされました。のっぽのスイブル155は、陸でも海や川の中でも工事ができるブルドーザーだったので。



『ざっくん! ショベルカー』

作/竹下文子
絵/鈴木まもる
1,000円 (偕成社)
※『はしれ! たくはいびん』(P19で紹介) などもあり

お兄さんがショベルカーで仕事に出かけます。月曜日は公園で木を植えました。火曜日は町で水道工事、水曜日は山でけけ崩れを防ぐ工事。いろいろな場所でショベルカーは大活躍です。



プログラム 0・1・2歳

どこで/子育て教室 所要時間/25分
 テーマ/絵本で遊ぶ

このプログラムのポイント
 絵本を通して遊びましょう! 言葉や音の響きを感じたり、体を動かしたりして親子で楽しんでください。

①「つみき」

文/中川ひろたか 絵/平田利之
 850円(金の星社)

積み木の表情を楽しみながら、一緒に積み木を積んでいる感じで読みましょう。最後のページにきたら、もう一度最初に戻って読むのも楽しい!



②「どんぐりころちゃん」

作・絵/正高もとこ
 1,200円(鈴木出版)

落ち葉や昆虫にも目を向けて、わらべ歌を繰り返して歌い、いろんなころちゃんとお出かけしましょう。



③「たっくんとためき おちば きょうそう」

作・絵/白土あつこ
 1,200円(ひさかたチャイルド)

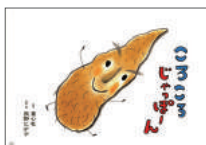
どんぐりの次はたくさんの落ち葉です。落ち葉の上にジャンプ! 思いきり遊びましょう。その後のおいもと一緒に食べましょう。



④ 紙芝居「ころころじゃっぽーん」

脚本・絵/長野ヒデ子
 1,400円(童心社)

短いわらべ歌の繰り返しです。最後にお子さんをころころじゃっぽーんと転がしてこちょこちょしてあげましょう。



⑤「ぴっけやまのおならくらべ」

文/かさいまり 絵/村上康成
 1,000円(ひさかたチャイルド)

ぴっけやまの動物は比べっこが大好き。今日は「おならくらべ」。ゆかいな擬態語・擬音語を楽しみましょう。



⑥「わらべうたえほん げんこつやまがあったとき」

作/間所ひさこ 絵/雨宮尚子
 1,100円(PHP研究所)

げんこつやまのタヌキさんは何しているかしら? 読み終えたら手遊びを楽しみます。



⑦「べんぎんたいそう」

作/齋藤 楳
 800円(福音館書店)

赤ちゃんは保護者が体を動かし、1・2歳児は親子で体操しましょう。同じ体操を2〜3回繰り返しながら進めて、最後に「またあした」で終わらしましょう。裏表紙も見せてください。



(大谷美恵子)

対象別おはなし会のプログラムです。
 ここで紹介する絵本や紙芝居は、
 ご家庭での読みきかせにもおすすめです。
 秋のブックガイドとしても活用してください。

行事絵本・季節の絵本

読書の秋

「ごほん! ごほん! ごほん!」

文/デボラ・プラス 絵/ティファニー・ピーク
 訳/おがわひとみ 1,300円(評論社)

牧場の動物たちが、町の図書館に出かけました。探しているものがあるのですが、司書さんに、動物たちの言葉はわかりません。



敬老の日

「あらまっ!」

文/ケイト・ラム 絵/エイドリアン・ジョンソン
 訳/石津ちひろ 1,350円(小学館)

「さっさと寝なさい」と言うおばあちゃんに、まだ眠りたくないパトリックは、いろいろと口答え。孫とおばあちゃん、ふたりのやりとりは続きます。



紙芝居

「ざしきわらし ぼーいはい!」

脚本/さえぐさひろこ 絵/梅田俊作
 1,900円(童心社)

こすずばあさんは、大きな家にひとりで暮らしています。でもあるときから、家に誰かいるように感じ始めました。



紙芝居

「どんぐりのあかちゃん」

脚本/島本一男 画/若山 憲
 1,800円(童心社)

スダジイの木から、北風で飛ばされたどんぐりぼうや。何度も食べられそうになりましたが、やがて新しい芽を出しました。



紙芝居

「きょうのぼんごはん なあーに?」

脚本・絵/やべみつのり
 1,400円(童心社)

あかねちゃんがお母さんに聞きます。「きょうのぼんごはん、なあーに?」。ヒントは、1場面の穴から見えますよ。



(安富ゆかり)



絵本作家さん こんにちは!

この人にあれもこれも

祝!
絵本作家
50周年

にしまき かやこ
西巻 茅子さん

PROFILE

にしまき・かやこ

1939年東京生まれ。東京藝術大学工芸科卒業後、子どもに絵を教えるアトリエを開くかたわら、リトグラフを学ぶ。日本版画協会展に最初に出品した作品で新人賞、同奨励賞を受賞。1967年『ボタンのくに』で絵本デビュー。以後子どもに熱く愛される絵本を多数出版している。

いつも、これまでにない 絵本をつくりたかった!

絵本作家デビューから50年の節目の年。

東京・銀座の教文館での記念展も無事終了した西巻茅子さんをお訪ねして、
これまでのお仕事や今の心境をうかがいました。

撮影/石川正勝

1カ月半の展覧会で
多くの人と会えた

今回の「絵本作家デビュー50周年記念展」は、企画をすべて教文館で立てて、進めてくださったのです。あれこれ口を出すと、うるさがられるから(笑)、「原画は一列にダートと並べて、あまり間をあげないで」など、ちよつとだけ希望を言っただけで、あとは自分ではとくに何もしていないの。

会場のスペースがそれほど広くないので、どうかなあと思っただけれど、初期のころの原画をたくさん出して、いろいろ工夫していただいたこともあって、それなりに見ごたえのある展示になったかな。だから、とても感謝していますよ。

1カ月半という長丁場だったので、小学校のころのお友だちや、藝大時代の友人など、懐かしい人もたくさん来て、あれこれ感想を言ってくれて。いわむらかずおさんも大学の同級生で、オープンニングにも来てくれたんですよ。

サイン会も何度もやったけれど、そのたびに、絵本好きの方たちが並んでくださってね。やっぱりうれしかったですね。「ありがたいなあ。これまで絵本の仕事を続けてきてよかった」と思いましたね。

著作権保護コンテンツ

古典文学



『かえるの竹取ものがたり』

文/俵万智
絵/斎藤隆夫
1,800円 (福音館書店)

光る竹から生まれたかくや姫。これまで見たこともない美しい娘を、おじいさんとおばあさんは大切に育てます。やがてその美しさは帝の耳にまで届きます。

竹取物語



古い時代のすぐれた文学作品。日本では11世紀に源氏物語が登場します。そのほか、枕草子、平家物語など、江戸時代までに書かれた文学をさします。



『かえるの平家ものがたり』

文/日野十成 絵/斎藤隆夫
1,500円 (福音館書店)

古くからある大きなげんじ沼のカエルたち。その沼のほとり、千年杉の下に住むがまじいさんの琵琶の音に耳を傾けてみましょう。源氏と平家の戦いのおはなしが始まります。



『祇園精舎』

絵/山本孝 編/齋藤孝
1,200円 (ほるぷ出版)

「祇園精舎の鐘の声」で始まる平家物語の冒頭。最も有名な部分です。暗い夜道に行く琵琶法師の怪しげな語りと、従者の小僧の誘導に村人たちが魅せられていきます。

平家物語



『ゆく河の流れは絶えずして』

文/鴨長明 絵/軽部武宏
編/齋藤孝
1,200円 (ほるぷ出版)

鎌倉時代に、鴨長明が晩年に日野山に一丈(約3m)四方の庵を結び、そこでしたためられた随筆。枕草子、徒然草と並ぶ日本三大随筆のひとつ。

方丈記



『春はあけぼの』

文/清少納言
絵/たんじあきこ
編/齋藤孝
1,200円 (ほるぷ出版)

日本人なら誰でも知っている清少納言の言葉。春夏秋冬それぞれの美しさが鮮やかに描かれています。1000年のときを超えてなお、言葉の美しさが光ります。

枕草子

今月の
注目『チャーリーと シャーロットと
きんいろのカナリア』

作/チャールズ・キーピング
訳/ふしみみさを
1,600円(ロクリン社)

チャーリーとシャーロットは、一緒に露店の小鳥屋さんをながめるのが好きでした。ところがある日、シャーロットはどこかに引っ越してしまいます。寂しいチャーリーは金色のカナリアを飼いたいと思いました。



翻訳者から

この本をはじめて図書館で見たとき、圧倒的な画力と美しさに、目を離すことができなくなりました。まるでガラスに描かれたような透明さと色の鮮やかさを兼ね備えています。こんな名作が、作者キーピングの祖国イギリスを含む、世界中で絶版で、どこを探しても古本以外手に入らないなんて！ ぜったい後世に残しておくべき作品なのに！ それから20年、ついに日本で復刊することができて、心からうれしく、誇らしく思っています。ひとりでも多くの方の手に届きますように。(ふしみみさをさん)

『高尾山の木にあいにく』

文/ゆのきようこ
絵/陣崎草子
1,400円(理論社)

東京都の高尾山は、日本一登山客の多い山です。200種類以上の木を抱える、生物多様性の山でもあります。高尾山で植物観察を続けているおじいさんと一緒に、ふもとから山頂まで歩いてみましょう。



『イードのおくりもの』

文/ファウズィア・ギラニ・ウィリアムズ
絵/プロイティ・ロイ
訳/前田君江
1,300円(光村教育図書)

明日はラマダンの終わりを祝うイードのお祭りです。イスマトはおかみさん、お母さん、娘に贈りものを買いました。自分に買ったズボン、指4本分長いようです。みんな忙しくしているので、自分ですそを切って縫いました。



『へたなんよ』

文/ひこ・田中
絵/はまのゆか
1,300円(光村教育図書)

おばあちゃんは、いろんなことがうまくできません。電話を聞くこと、針に糸を通すこと、歩くこと……。そんなおばあちゃんが大好きなネネは、いつも手伝います。でも、おばあちゃんにも上手なことがあります。それは、長生きすること！



『あかい自転車』

ビッグ・レッドのながい旅』

文/ジュード・イザベラ
絵/シモーネ・シン
訳/志多田 静
1,600円(六耀社)

自転車は、楽しい乗りものです。環境にやさしい移動手段であるというだけでなく、アフリカなどの貧しい農村地域では、人々の生活を大きく変える役割を果たします。少年が寄付したことから始まる、自転車の長い旅の物語です。

『リトル・ピープル、ビッグ・ドリーム
フリーダ・カーロ』

文/イザベル・サンチェス・ヴェガラ
絵/アン・ジー・ファン
訳/おびただす
1,400円(六耀社)

病気や事故にもめげず、フリーダはベッドの上で自分の絵を描き続け、強く生きぬきました。苦境に負けず、ほとんど独学で個性的な絵を描き続け、47歳という若さで亡くなったメキシコの画家、フリーダ・カーロの物語。



絵本とおはなし会の参考図書

『深読み！絵本「せいめいのれきし」』

著/真鍋 真
1,500円(岩波書店)

現在の技術革新や研究の成果は、過去や歴史をも変化させます。半世紀以上読み継がれてきた絵本の改訂版監修者が、さらに作品を楽しむポイントと最新の情報を紹介します。

『物語の森へ
児童図書館 基本蔵書目録2』

編/東京子ども図書館
3,600円(東京子ども図書館)

子どもたちに手渡し続けたい、1950年代～2016年に刊行された児童文学作品約1600冊が収録されています。書名、作者名だけでなく、キーワードから本を探せる件名索引が便利です。

